

平成28年度 民間資金等活用事業調査費補助事業

【下水道－I－イ】資産(管路)の情報に関する基礎資料の精査に係る調査 (調査対象箇所：三浦市下水管路)

【調査主体】三浦市

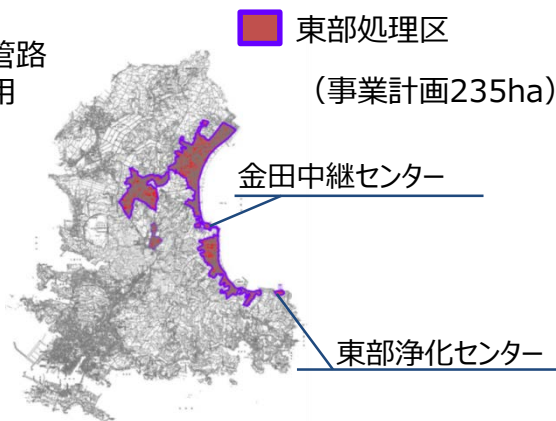
調査対象事業の概要／施設の概要

【事業概要】

本業務では、東部処理区の全体にわたり、汚水管路内の劣化状況等について、専用のテレビカメラ等を用いた調査及び人孔内の目視点検調査を実施し、その調査結果の評価を行う。

【施設概要】

- ・管路総延長：53,679m
- ・人孔（マンホール）：2,142箇所



検討経緯等

- ・本市では、維持管理費用の増大や人口減少に伴う下水道使用料の減少など、解決すべき課題に対応するため、平成23年4月以降包括的民間委託を実施し、平成27年10月には下水道使用料の値上げを行った。
- ・今後増大する、下水道施設の更新・改修の需要等に対応するため、コンセッション方式を導入し、専門的技術力を有し、効率的運営のノウハウを有する民間事業者による運営に移行することを目指している。

事業化に向けて解決すべき課題及び検討すべき内容

【解決すべき課題】

本市ではこれまで、管渠に係る詳細な調査を行っておらず、コンセッション事業に応募する企業に対して、管渠の現状について提供できる情報が限定された状況にある。このことから、コンセッション事業を推進する上で、次の課題を抱えている。

〈管渠に係る詳細なリスク把握〉

- ・管渠に係る劣化状況等が把握できていないことから、応募する企業側も、どのようなリスクがあるか把握することができない。そのため、企業側に管渠に係る詳細なリスク分担を示すことができない。

〈管渠に係る費用の見積り〉

- ・管渠に係る詳細な情報が無いことから、応募する企業側も、修繕や改築更新等の費用を見積もることができない。そのため、企業側に詳細な事業計画を求めることができない。

【検討すべき内容】

左記の状況を踏まえ、管渠の現状を把握する必要があることから、次の調査を実施する。

- ・スクリーニングカメラ調査工
- ・本管TV調査工
- ・目視調査工

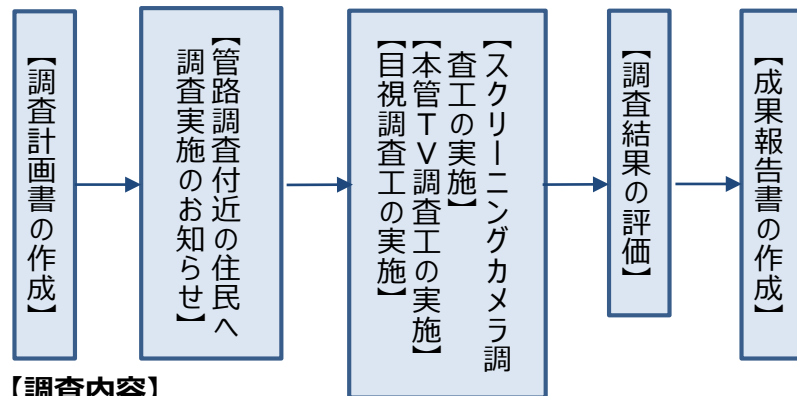
平成28年度 民間資金等活用事業調査費補助事業

【下水道－I－イ】資産(管路)の情報に関する基礎資料の精査に係る調査
(調査対象箇所：三浦市下水管路)

【調査主体】三浦市

調査の流れ／調査内容

【調査の流れ】



【調査内容】

工種	実施数量
小口径スクリーニングカメラ調査工 (本管径450mm以下)	48,139m
本管TV調査工(展開図化式) (小口径500～700mm)	3,236m
本管TV調査工(直視側視式) (大口径800～900mm)□	2,304m
目視調査工	2,142箇所

事業化検討

①検討した事業手法

- 汚水管路内の劣化・損傷状態を把握するための手法
- ・スクリーニングカメラ調査工
 - ・本管TV調査工（展開図化式及び直視側視式）
 - ・目視調査工

②定量評価（VFM等の財政効果の算出）

区分	判定(異状度ランクA・a>B・b>C・c)				
	A・a	B・b	C・c	計	
小口径スクリーニングカメラ調査工	139	1,164	1,180	2,483	
本管TV調査工	(展開図化式)	2	9	361	372
	(直視側視式)	5	3	10	18
目視調査工	297	635	857	1,789	

③その他（定性評価等）

④検討結果

コンセッション事業を推進していく上で、管渠の状況を把握するとともに、コンセッション期間中における管渠の維持管理計画及び改築更新計画の作成に、今回行った管路調査の結果を活用していく。

今後の進め方

※現時点でのスケジュール案

- ・下水道施設の維持管理計画及び改築更新計画の作成：平成30年4月～9月
- ・実施方針素案、要求水準書素案の公表：平成31年4月
- ・実施方針、要求水準書の公表、募集要項の公告：平成31年10月
- ・公共施設等運営権設定、実施契約の締結：平成32年11月
- ・事業開始：平成33年4月

想定される課題

- ・PSC及びPFI-LCCを検討するための、コンセッション期間中における処理場、ポンプ場及び管渠の維持管理計画及び改築更新計画の作成
- ・PFI-LCCを作成する上で、企業側から提出してもらおう見積りの条件整理